

使用済燃料再処理・廃炉推進機構 第86回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2025年9月18日(木) 9:30~12:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、山口彰(委員長代理)、秋池玲子、井口哲夫、小澤俊朗、織朱實、梶川融、斉藤拓巳、佐久間総一郎、采田正之
出席理事 増田博武(理事長)、鴫田真孝(副理事長)、板垣雄士、出光一哉、胡居宏明、河合雅彦、平島暁、水田仁

4 議事の経過及び結果

(1) 運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は18名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているため、本運営委員会が成立することを確認した。

(2) 議案審議及び自由討議

【報告事項】

a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

b. 再処理事業等に関する実績確認について

事務局から、2024年度の再処理事業等の費用支出等に関する実績確認結果について報告を受けた。

c. コンプライアンスの推進状況及び業務情報の管理状況について

担当理事から、コンプライアンスの推進状況と業務情報の管理状況について報告を受け、自由討議を行った。委員から、コンプライアンスの推進の観点から、内部コミュニケーションの重要性を指摘する意見があった。

業務情報の管理について、現状セキュリティ対策が適切になされているが、外部からの攻撃レベルは日々高度化しているため継続的な見直しが必要であるとの意見や、業務委託先の情報セキュリティ対策の確認も今後必要である旨の意見があった。また、今後のAI活用について委員から質問があり、機構からは、情報管理に留意し、AIの活用について検討していく旨を回答した。

d. これまでの業務実績と今後の課題について

事務局から、これまでの業務実績と今後の課題について説明を受け、自由討議を行った。委員から、機構の役割を踏まえ、外部への情報発信、広報のあり方について検討が必要ではないかとの意見があった。機構からは NuRO の特徴を活かした広報について検討していく旨回答した。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び増田理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構
運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 増田 博武 印

以 上